

2024/10/19 開催 いけんひろば
～国立公文書館の展示を見てみよう！～
いけんのまとめ

1 班（小学生 5 名）	2
2 班（中学生 5 名）	6
3 班（高校生世代 5 名）	11
いけんひろば後のアンケートで書かれた意見	14

2024/10/19 開催 いけんひろば
～国立公文書館の展示を見てみよう！～
いけんのまとめ

1 班（小学生 5 名）

1. 公文書について

○公文書の実物を見て、分からないこと、もっと知りたいなと思ったことは何ですか。

- 津波や災害があった時はどうしているのか。なぜ 1,000 年前のものでも保存できるのか。永久保存は大変ではないか。
- 展示「日本のあゆみ」では明治より後の公文書しかないのはなぜか。
- 公文書の補修のしかたが気になる。
- もし文書で消えている文字があったらどうするか。消えたり千切れていたりして文書が一部なくなっているものはどうするか。予想するしかないのでは。
- 新聞のような、1 枚の紙みたいな資料もあるのか。
- 文書の保管にいくらかかるのか。災害対策はどうしているのか。
- 読めない資料も保管しているのか。
- もし保管している文書を汚してしまったらその資料をどうするか。

2. 国立公文書館について

○国立公文書館について、分からないこと、もっと知りたいなと思ったことは何ですか。

- 国立公文書館をもともと知らなかったから、色々な人に知ってもらうために何をしているか知りたい。国立公文書館について分かりやすい工夫がされているか。
- なぜ現在の立地にしたのか。
- なぜ皇居の近くなのか。
- どのくらいの数の公文書を保存しているのか。
- 国立公文書館には美術品などなんでも受け入れるのか。
- 国立公文書館の職員の給料はいくらか。国立公文書館で働いている人の人数はどのくらいか。
- 新館を作ったら現在の国立公文書館はどうするか。使わなくなるのか。
- 国立公文書館に歴史の動画が観られる映画館がほしい。資料に沿った体験ができればいい。
- 国立ではない公文書館はあるのか。私立の公文書館はあるのか。
- 防犯対策はどうしているのか。公文書を盗まれたり、勝手に入られたりなどしないのか。
- 昔、大切な書物を保管していた場所はどこか。
- デジタルアーカイブがあることを初めて知った。
- 歴史資料が好きなので、デジタルアーカイブは気になる。
- 規制がなければデジタルアーカイブを使ってみたい。
- 映像で公文書館は「世界と交流する」と言っていたが、どのように交流するのか。
- 外国の公文書館など、国立公文書館の他にある公文書館とはどのような機会交流しているか。

2024/10/19 開催 いけんひろば
～国立公文書館の展示を見てみよう！～

いけんのまとめ

- バチカン市国に公文書館はあるのか。日本以外の国にも公文書館はあるのか。
- 公文書館がない地域はあるのか。
- データの公文書がこれから増えるようだが、データを保存するならパソコンに保存していくのか。スーパーパソコンやコンピューターを導入する予定はあるのか。
- 国立公文書館が今まで交流してきた国は何か国か。
- 国立公文書館はどのような企業と連携しているのか。
- 国立公文書館はどの省庁に属しているのか。
- 日本で一番大きい公文書館はどこか。
- 国立公文書館に資料が入らなかったらどうするのか。
- 現在の国立公文書館の所在地には元々何があったか。

3. 新しい国立公文書館について

○新しい国立公文書館で、どういう展示があると皆さんにとって分かりやすいと思いますか。

- バリアフリーになっているといい。
- イヤホンでの音声案内があるといい。
- イヤホンの音声案内は、自分が見ている資料以外の説明が聞こえてきてほしくない。
- レプリカを展示・販売してほしい。他の博物館展示では大きなレプリカが売っていて欲しいと思った。
- 国立公文書館と大手企業のコラボ。例えば「やきそばの歴史展」。
- 展示品に「これは何年前のものです」と書いてほしい。
- 展示物に角度をつけて見やすくしてほしい。棚の高さを少し下げてこどもでも見やすくしてほしい。
- 「令和」の紙のスタンプなどを押せるなど、スタンプラリーがあったら良い。
- 公文書に関する体験ができるといい。例えばスタンプラリー、謎解きなど。
- 謎解きやスタンプラリーなどの体験が終わったら、お菓子などの景品がもらえるとうれしい。
- こども向けイベントがあるといい（謎解きなど）。
- こどもに読めない文書には、看板などをつけて漢字にふりがなをふってほしい。
- 文書の読み方を少し隠しておいてクイズにすると良い。紙をめくると答えが見えるものをイメージ。
- アプリでゲーム式にして少し情報を出して、「続きが気になる」と思うような仕掛けがあると良い。
- デジタルアーカイブなど、国立公文書館のホームページは自分で調べないと出てこない。
- インターネットで資料を見るときに、意味などが書いてあると良い。また、展示では読めない字があったため、ふりがながあると助かる。
- 館内の階段が寂しかったので、階段に公文書の写真を貼る。
- 書物階段にする。
- 階段に公文書のレプリカの試し読みのものを設置する。
- スーパーマーケットなど目立つ建物や、皆がよく来る場所の近くに公文書館を作る。例えば、スーパー併設の公文書館もアイデア。

2024/10/19 開催 いけんひろば
～国立公文書館の展示を見てみよう！～
いけんのまとめ

- ・ 塾の帰りに公文書館に寄るという使い方もできる。

<何があったら公文書館に寄ろうと思うか>

- ・ 何かが体験できる。
- ・ 受験に役立つ。教科書や資料集に載っている写真では物足りない。
- ・ 公文書館が保存している文書などを教科書に載せてもらうときに一工夫すればもっと公文書館について知ってもらうことができる。「公文書館から借りました」と書いてもらうようにするなど。
- ・ 建物に「国の」とついていると入って良いのか分からない。入って良い場所だという雰囲気がない。入ってOKで、展示があるという雰囲気を出さないと入れない。国立なので入れないと思っていた。
- ・ 大きな看板などがないと入っていいのかが分からない。
- ・ 博物館のような感じで国立公文書館に来てほしいと伝えた方がいい。
- ・ 博物館はみんなが来る。博物館と公文書館だと印象が違う。公文書館は「入っていい雰囲気ではない」と思う。
- ・ 見学できるということをアピールする。「入っていいです」ということが伝わり、入りにくいことの壁さえ乗り越えられれば皆の博物館的な存在になるのでは。
- ・ 遊園地的な感じにする。動物園の奥にあるアトラクションスペースのようなものがあるといい。
- ・ 「本館」は「メインの館」ではなく「絵本がいっぱいあるよ」として宣伝する。
- ・ 展示スペースを広げたほうが良いのではないかな。展示スペースが狭いと感じた。「もう終わりか」と思った。
- ・ 絵や政治など興味がある人もいるので、展示スペースを広げる。
- ・ 館内を歩くのも楽しいようにする。
- ・ 保管庫みたいな環境も見せる。
- ・ 国立の博物館・美術館と協力して、国立公文書館と国立の博物館・美術館を全部つなぐスタンプラリーを開催し、コンプリートした人に賞品があるようにすれば国立公文書館にも人が来てくれる。
- ・ フォトスポットを作る。
- ・ 自分で「令和」の紙を見せるのをやってみたい。

<こどもウェルカムの雰囲気は感じたか>

- ・ 塗り絵があっただけ良い。
- ・ 専門の学者が行きそうな場所だと思った。
- ・ 来ている人が大人ばかりだった。
- ・ こどもにとっては展示が難しすぎる。
- ・ 今の公文書館は大人向けと感じた。大人が多いし、難しい内容が多い。
- ・ みんなに覚えてもらうためのイベントを開催するのが良いのではないかな。
- ・ 気軽に行けるのが大事。
- ・ 歴史が好きな人が行きたくなる場所にして、興味ある人が興味のない人を引っ張っていくようにしたい。
- ・ こどもが遊べるスペースがほしい。

2024/10/19 開催 いけんひろば
～国立公文書館の展示を見てみよう！～

いけんのまとめ

- 大人が展示を見ているときにこどもが過ごせるスペースをつくるといい。
- 気軽に行けるよう、多目的スペースをつくってほしい。
- 公文書を楽しい雰囲気で見せてほしい。
- 例えば「マンガ歴史展」などこどもに親しみやすい歴史展を開けばよいのではないか。
- おみやげショップは拡充してほしい。
- レプリカのおみやげがあるといい。

以上

2024/10/19 開催 いけんひろば
～国立公文書館の展示を見てみよう！～
いけんのまとめ

2 班（中学生 5 名）

1. 公文書について

○公文書の実物を見て、分からないこと、もっと知りたいなと思ったことは何ですか。

＜今回見た公文書の中で最も面白かった公文書はどれか＞

- 企画展「龍 一日常にとけこむ神秘」の展示と解説がおもしろかった。
- 平成の書に関するエピソード解説がおもしろかった。
- 展示方法について、漢字がたくさんある文章はわかりにくい、赤い矢印で具体的なイメージを伝えてくれている点良かった。また、龍のイメージの色である水色や青色の絵の具を垂らしたようなデザインのパネル良かった。
- 車いすを使っているの、顔を上げないと展示が見えなかった。展示台がもう少し低いと良いと思った。見やすい展示もあったが、途中途中に見づらい展示があった。
- 龍と虎とかのパーツを組み合わせているのがおもしろかった。

＜家族や友達に紹介するならどの公文書を紹介したいか＞

- 龍宮城の漢字を見て、龍の城であることに気が付いた。展示を見ないと、そのような漢字だと気づけなかった。お母さんに伝えたいなと思った。
- 「龍は虎の頭で鬼の爪で・・・」と表現していたのがおもしろかった。展示で実際に書いてあるのを見られて楽しかった。

＜「公文書」と初めて聞いた時にどんなイメージを持ったか＞

- 漢字を読めば書類のことだと分かるが、音で言葉を聞いただけではイメージが持てなかった。公文書を見るのは初めてだった。
- 大臣あての手紙が見たいと思っていた。
- 最初は「公文」を「くもん」と読むのかなと思っていた。資料の説明を受けたら納得した。

＜展示を見て「公文書」のイメージは変わったか＞

- 永久に取っておくために保管しているんだと分かった。
- 資料は量が多いから、古い公文書は全て燃やすと思っていたけれど、永久に保存されるということを知ってすごいなと思った。

＜展示で「見にくかった」「分かりにくかった」「聞こえにくかった」「つまらなかった」ものは何か＞

- 今回のいけんひろばでは、展示を解説してくれる人がいたけれど、解説してくれる人がいなかったら漢字ばかりで年齢が低いこどもは分からないと思う。自分も分からなかったと思う。

2024/10/19 開催 いけんひろば
～国立公文書館の展示を見てみよう！～

いけんのまとめ

- 資料の下にあった解説文は、年齢が低いこどもは漢字を読めないだろうから、ふりがなを振った方が良かったと思った。
- 絵巻物は左側に展示があり、進路の方向から見ると④③②①の順番になっていた。逆の順での展示なら良かったと思った。
- 理由があるかもしれないが、展示されている紙と、床に敷いてあるカーペットの色が似た色で見にくかったので、床に敷いてあるカーペットの色を変えたら良かったと思った。
- 全部面白くて、退屈した部分はなかった。
- 書物に残っていないから分からないかもしれないが、龍は薬や神や化け物などイメージが定まらないんだなと思った。捉え方ごとに区間で分けて展示すると良いかもしれない。

＜公文書の実物を見る・触るなかで、一番気になったことは何か＞

- 紙質が意外としっかりしているなと思った。もっと簡単に破れてしまうのかと思った。
- 紙質がバラバラだったので統一したいなと思った。

＜企画展「龍 一日常にとけこむ神秘―」で多く展示されていたような巻物をさわってみたかったか＞

- 巻物に触れることがあまりないので、触ってみたいし、巻物を巻いてみたい。展示室でガラス越しで見た公文書も、実際に触れたら面白いと思う。
- 印字の書類は今でも触れるので、筆で書いたものや、展示で見たような絵を触ってみたい。

2. 国立公文書館について

○国立公文書館について、分からないこと、もっと知りたいなと思ったことは何ですか。

＜ビデオ「国立公文書館の業務紹介」の感想＞

- 短くまとまって良かった。でも、たとえば、公文書の保存のためにする「くん蒸」のような業務は、映像だからこそ紹介できることだと思うが、単語だけ出して説明が跳んでしまっていたので、もう少し詳しく教えてくれた方が魅力的だと思う。もっと詳細に説明したバージョンの動画も作ってほしい。
- 展示では見られない、裏の部分が知られておもしろかった。保存作業をしているところを実際に見られたら良いなと思った。
- 永久保存するのに文書が毎年増えていくのは不思議な感覚だと思った。
- 字幕があることで、内容が頭に入りやすかった。公文書は、毎年毎年増えていくので、保管場所が足りるのか心配になった。
- 字幕があり、聞き取れないところも字幕を見て理解できたので良かったと思った。
- 体験みたいな感じがした。

＜国立公文書館が行っている仕事の中で、疑問に思ったことは何か＞

- くん蒸するときにガスマスクみたいなものをなぜ着けていたのか疑問に思った。

2024/10/19 開催 いけんひろば
～国立公文書館の展示を見てみよう！～
いけんのまとめ

- 永久に保存しなければならない公文書に手を加えるのは、失敗したときの責任が大きくて心配になった。

＜もし自分が国立公文書館で働くとすれば、どの業務をやりたいか＞

- 公文書を複製する作業をやりたい。

＜国立公文書館の役割である「記録を守る」ことの意味は何だと思うか＞

- 過去から学んで、新しい政治を実施することができる。
- 同じ間違いを繰り返さないようにできる。
- 事実を伝えることができる。ただ、なぜ本物の公文書を保存しないといけないのかは分からなかった。レプリカを保存することでも、同じように事実を伝えられるのではないかと感じた。
- 歴史の研究者にとっては、こういう文書が保存されていると良いのかなと思った。
- 研究のため。研究は経済のために必要だと思う。たとえば、戦国時代の武将について本を作って売ることができる。

＜国立公文書館のデジタルアーカイブを使ってみたいと思うか。どのようなときに役立ちそうか。＞

- 使いたい。歴史を調べるときに、インターネット検索だと正しい情報を探すのが難しいので、役立ちそう。歴史的なことがまとまっているから、わざわざ検索しなくても、そのサイトの中から見つけれられる。
- 使いたい。歴史の授業などで調べものをするときに、ちゃんとしたところで調べた方が良かったと思った。
- 使いたい。信頼性が高い。また、離島に住む人など、国立公文書館に足を運べない人でも使うことができるのが魅力だと思う。

＜博物館と国立公文書館の違いは何だと思うか＞

- 公文書は、紙の書類が多い。
- 博物館が重きを置いているのは知ってもらうことで、国立公文書館が重きを置いているのは、ビデオ「国立公文書館の業務紹介」で紹介されていたキャッチコピーにもあったように「守る」ことだと思う。
- 国立公文書館は博物館と比べて狭くて、一般的でない。

3. 新しい国立公文書館について

○新しい国立公文書館で、どうい展示があると皆さんにとって分かりやすいと思いますか。

＜現在の展示の解説文は分かりやすかったか＞

- 解説してくれる人がいなかったら、理解できないと思う。
- 解説がないととっつきにくい内容だと思う。
- もう少しやさしい言葉を使ったり、やさしい版を作っていたりしたら年齢の低いこどもでもわかりやすいと思う。

＜解説してくれる人がいないときに、解説文だけで理解できるようにするには何があったら良いか＞

2024/10/19 開催 いけんひろば
～国立公文書館の展示を見てみよう！～

いけんのまとめ

- ビデオ「国立公文書館の業務紹介」よりも少し簡単なアニメーションにまとめていると良い。
- テーマごとに分けたい。
- 展示は実物・解説・キャラクター付きの解説という3段階くらいに分けてあると良い。
- エピソードなどを聞けると良い。番号を入れたら聞けるようなもの（音声ガイド）があったら良い。
- キャラクターが登場する解説動画があると良いと思う。ショート動画のように短くまとめたものが良い。
- 録画は長いので、スポンサーをつけて手短な広告をテレビなどで放映する。
- いけんひろばに参加するまで、国立公文書館を知らなかったのが課題だと思う。
- 広告は6秒くらいの短い方がいい。YouTubeで広告が長いとスキップしてしまう。
- 広告は最初が重要だと思う。
- YouTubeの広告は、チェーン店や株式会社みたいなものが多いから、急に国立公文書館の広告が流れたらとびっくりしてしまうと思う。
- 電車の広告はどうか。
- つり革に広告をつけたら良いと思う。

＜相手が知らないことを説明するとき、伝えやすくするためにどのような工夫をしているか＞

- 他のものに例える。

＜普段、博物館や美術館には行くか。どのような理由で博物館や美術館を訪れているか。＞

- 行かない。スタンプラリーがあったら行くかもしれない。
- 行けない。博物館・美術館に入るにはお金がかかる。観光ついでなら行くかもしれない。
- 興味があるので行く。美術館は、母に「おもしろそうだよ」と勧められたり、有名な人の絵が展示されていたりすると行く。観たい絵はないけれど雰囲気を楽しむ。博物館・美術館には、家族に付いて行くことが多い。哺乳類展などに行ったことがある。他には、お花の絵や、カーテンが展示されていて、年齢の低い子どもがいても良かった展示が印象に残っている。
- 博物館・美術館には家族と一緒に行くことが多い。新聞広告で見て「行きたいね」となる。
- 科学博物館に好きな展示があり、常設展等も見に行く。期間限定等で好きな展示があるとせっかくだからということで他の展示も見。

＜今まで行った博物館や美術館で印象に残っている・楽しかった展示＞

- 体験型の展示。たとえば目の錯覚に関する展示では、進むと展示がくるくる回って見えるような体験があった。写真を一緒に撮れるというよりは、見ていて楽しい展示だった。
- 推しの展示会に行った。進むと何かが出てくるような仕掛けがあった。何が出るかなというワクワク感があった。
- 哺乳類展は動物の剥製が並んでいて迫力がすごかった。動物が近くにいるように感じた。立体物が並んでいると良いかもしれない。
- レプリカよりも実物があった方がテンションが上がるし、親近感がわく。その時代のことを連想しやすい。

2024/10/19 開催 いけんひろば
～国立公文書館の展示を見てみよう！～
いけんのまとめ

＜周囲の人に国立公文書館に興味を持ってもらうにはどうしたら良いと思うか＞

- ちらしを配る。
- ちらしを学校で配ったら良い。
- 教科書で紹介して、まずは公文書について知ってもらう。
- まずは「知ってもらう」ことが大切だと思う。ちらしは良い案だと思う。

＜「知る」あとに、国立公文書館に「興味をもつ」ためにはどうしたら良いと思うか＞

- 面白い特別展示があったら見に行き、ついでに常設展示も見ることになると思うので、特別展示を充実すると良いと思う。
- 龍のような、公文書とあまり結びつかないテーマだと、興味を持つ人がいるかもしれない。
- ちらしで干支を紹介したら「来年の干支はこれか。行ってみよう」となるかもしれない。あと、次の年の干支の置物があったら良いと思う。
- 国立公文書館を起点に興味をもつのは割と難しいと思う。興味があるものをきっかけに来るのが一番良いと思う。たとえば、「明治維新」のような歴史に関するテーマのほうが興味を引くと思う。対象を絞った方が良いかもしれない。

以上

2024/10/19 開催 いけんひろば
～国立公文書館の展示を見てみよう！～
いけんのまとめ

3 班（高校生世代 5 名）

1. 公文書について

○公文書の実物を見て、分からないこと、もっと知りたいなと思ったことは何ですか。

- 文書のレプリカが置いてあると聞いたが、「平成」や「令和」の書はレプリカか本物かが気になった。
- レプリカを作る過程を知りたい。
- 展示の説明を聞いていて、文書に人間味があると感じた。どういう役職の人が書いたのだろうと思った。文書を承認した人の署名はあるが、その文書を実際に書いた人は誰かわからない。文書に書いてあることを決める人と、文書そのものを書く人が別なのか気になった。
- 現代でも「令和」の書を誰が書いたかわからない。
- 「平成」の書をテレビで見たことがあった。国民に発表するものだからきれいに書かれているように見えていたが、今日展示で見て、実際には結構かすれているところがあってびっくりした。
- レプリカではあったが、教科書で見ていたものが展示で見られて感動した。
- 原本やレプリカを見ると違うなと思った。
- 展示資料はだいたい、歴史の授業や教科書で扱うものだと思う。教科書に載っているものと、本物やレプリカの資料とを見比べられるといいと思った。教科書で読みやすく書いてあるものと昔の言葉で書いてある資料とを両方見られると、内容がわかりやすいし、書いてあることが伝わると思う。
- 資料は紙が薄くて、簡単に破れそうだった。当時、紙の技術が発達していないからそうだったのだろうと思ったし、当時はそれほど大切な書類でもなかったのかなと思った。
- 資料を見て、かえって教科書がすごいなと思った。小さくても迫力があると思った。
- 公文書を 10 年後に展示するか 100 年後に展示するかなど、展示をするタイミングの基準を知りたい。
- 紙は印刷より墨の方が残ると言われているが、最近の紙の文書はどう保存するのか気になった。

2. 国立公文書館について

○国立公文書館について、分からないこと、もっと知りたいなと思ったことは何ですか。

- 昭和に現在の国立公文書館ができて、江戸幕府が所蔵していた文書も保管していると紹介されていた。江戸時代以前にはどんなところに文書が保存されていたのか気になった。
- 国立公文書館は資料の保存と国民に見せることが目的とのことだったが、人によって文書の見え方が違ってくと思う。新しい国立公文書館では学生にも公文書を見てほしいとのことだったので、国立公文書館に初めて来た人向けにどういうところなのか説明があるといい。その方が展示に興味を持ってもらえる。
- 毎年度公文書を受け入れるとのことだが、年度末に一気に受け入れるのか、それとも年度末以外に受け入れるのか。また、どれくらいの文書を受け入れるのか気になった。

2024/10/19 開催 いけんひろば
～国立公文書館の展示を見てみよう！～

いけんのまとめ

- 公文書の受け入れた後の「くん蒸」という過程について、学生が来たときに見学もできるとより公文書の保存を身近に感じてもらえると思った。
- 以前飲料メーカーに見学に行ったときにガラス張りで生産の様子を見学できた。ガラス張りで過程を展示できるといい。
- 文書の修復作業について、どこまで修復するのが気になった。昔の文書では紙が破れているものもあると思うので、どうするのが気になった。
- 劣化した文書をどういう作業工程や作業予定を組んで修復しているのが気になった。どんな優先順位をつけて作業をしているか知りたい。
- 繊細な資料はどうやって修復するのだろうと思った。
- 修復している職員の映像があったが、修復をするためには資格が必要なのか。資格があるとすればどうしたら取得できるのかも知りたいと思った。修復について学んだり、修復作業が見られる場所があったりしたら、公文書に興味を持てると思う。
- 公文書は膨大な量があるので、どういうものをデジタル化しているのか知りたい。
- 中学校のパソコンから公文書館のアーカイブは見るができない。中学校のフィルタは解除してほしい。
- 世界公文書館会議のようなものが存在することを初めて知った。
- 公文書管理に関して国の代表となる人がいて、国を代表して交流していたのがびっくりした。それだけ重要なことなのだと思う。
- 国立公文書館が国の組織だということがまず驚いた。

3. 新しい国立公文書館について

○新しい国立公文書館で、どういう展示があると皆さんにとって分かりやすいと思いますか。

- 新しい国立公文書館を国会議事堂の近くに作るのは、見学に来る学生などに国会と一緒に見てほしいという意図があると思う。
- 公文書の修復とあわせて、修復道具も見られたらいい。国立公文書館の紹介ビデオの中で裁縫のように修復をしていたのが印象的だった。私たちが使うような糸ではない糸を使っていたと思うので、公文書の修復専用の道具、たとえば糸や刷毛を、ふだん使っているものと比べて見られたら面白い。また、体験教室的なものがあったら面白い。
- ほかの博物館では説明用のイヤホンガイドを貸し出していたので、公文書館にもイヤホンガイドがあると思う。またはスマホで二次元バーコードを読み取ると説明が表示されるのもよさそう。
- イヤホンガイドで流れる説明は、そこにある公文書の基本的な情報だと思う。今日展示見学のときに案内してくれた職員の解説には、公文書の裏話も含まれていて面白かった。公文書に関する裏話や面白い話もイヤホンガイドに入れておくともっと楽しめそう。
- 聞いていて面白くないイヤホンガイドも多い。ディズニーランドのアトラクションのような、聞いていて面白味があるガイドがあるといい。

2024/10/19 開催 いけんひろば
～国立公文書館の展示を見てみよう！～

いけんのまとめ

- 人気声優がイヤホンガイドでナレーションをするのもいいかもしれない。
- 古い公文書の紙の質感を再現できると聞いた。公文書の現物に触れるようにするのは良くないと思うので、今の紙と昔の和紙を並べて触れるようにして、実際の公文書の感触を紹介できると、本物の公文書に触れた感覚になると思う。
- 常設展と企画展を見て、常設展は教育勅語など習ったことがあるものの実物を見られて感動した。企画展は専門的なこともあり、事前の知識がないと内容がわかりにくい。最初に資料全体について解説している導入用の動画などがあると、展示を見たときに感動が伝わると思う。
- 展示をわかりやすくするための導入的な動画などがあるといいという意見があったが、伊藤博文やガンジーなどの学校で絶対に学ぶ人物を中心とした展示があると「この人が書いたものか」「あの人がやったものか」と身近に思えそう。展示と自分が持っている知識とがつながる。知っている人に関する公文書だとより「重み」が出るので、学んできた人についての展示があるといい。
- 例えば「令和」の書をもって自分も同じポーズができるフォトスポットのような展示があると良い。
- わかりやすいし、親近感も出るのではないかな。
- 以前行った観光施設では観光説明をロボットが行っていた。生成 AI に昔の人の資料を読み込ませて、その人らしい解説ができるといいのでは。
- 関東大震災でバラバラになった資料があると聞いた。日本には過去に戦争も震災もあって、失われた資料もあると思う。公文書館の職員は古い資料の専門家だと思うので、無くなってしまって惜しいと思う文書にどういうものがあると思うか気になる。「こういう文書が残っていたら良かった」という思いや「今は無いけれど、昔はあった」ということを伝えられるシリーズのような展示があれば面白い。知識もあって詳細なことを知っているはずなので、無くなって悔しいと思う書類について聞けるといい。
- 企画展のテーマをどう決めているか気になる。今は「龍」だが、特別展のテーマをどう決めているのか。
- 企画展のテーマを検討するとき、実施してほしいテーマを来館者にアンケートしてみるの面白いと思う。来館者が希望を出したテーマで公文書を展示すると面白いのではないかな。また、「職員一押しの公文書」も見たい。

以上

2024/10/19 開催 いけんひろば
～国立公文書館の展示を見てみよう！～
いけんのまとめ

いけんひろば後のアンケートで書かれた意見

- 新館に「レプリカを作ってみよう（体験）」、「何年生で習う内容です」とあったらいいと思います！
- 今から何年前の出来事っていうのが分かれば楽しいなと思いました。私達は昭和って聞くとすごく昔の時代だと感じてしまうけど、実際の年数としては 100 年経っていなかったりしてびっくりしました。私は人生 100 年時代と言ってまだ近い歴史のものに感じました。そこを感じることができるとより親近感のある展示になると思いました。

以上